

## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月4日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所  
 コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清藤 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務執行責任者兼事業グループ管理本部長 (氏名) 中川 正人  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0274-22-2889

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	448	8.1	136		232		243	
2021年3月期第3四半期	414	6.3	230		299		303	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 243百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 303百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	26.14	
2021年3月期第3四半期	32.61	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,715	1,383	80.7
2021年3月期	1,838	1,629	88.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,383百万円 2021年3月期 1,627百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770	27.7	107		154		162		17.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社スカイライト・バイオテック
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	9,314,590 株	2021年3月期	9,314,590 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,130 株	2021年3月期	1,130 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	9,313,460 株	2021年3月期3Q	9,313,460 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、国内外においては企業や大学等における研究開発活動が回復基調となり、主力の試薬関連のELISAキットや抗体の販売を中心に、回復の兆しが見えてまいりました。利益面においては、株式会社スカイライト・バイオテック（完全子会社）の吸収合併（簡易合併・略式合併）を行い一時的な費用が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、国内外の出張諸経費を抑制したことや研究開発における選択と集中等により販売費及び一般管理費が減少いたしました。その結果、売上高は448,082千円（前年同期比8.1%増）となり、営業損失は136,678千円（前年同期は230,684千円の営業損失）となりました。また、営業外費用に、関係会社の持分法による投資損失を103,868千円計上したこと等により経常損失は232,900千円（前年同期は299,846千円の経常損失）となりました。以上より、親会社株主に帰属する四半期純損失は243,515千円（前年同期は303,799千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、投資損失には関係会社である株式会社CUREDや株式会社AI BIOにおける研究開発コストの損失等が含まれません。

(参考)

## 【株式会社AI BIO（以下、「AI BIO」）における研究開発の状況】

当社は、韓国企業のAbcontek, Inc（代表者：孫永善、ソウル市、以下ABCONTEK社）との間で、合弁会社（2020年12月21公表の「合弁会社（持分法適用会社）設立に関する合弁契約締結に関するお知らせ」参照）を設立（2021年2月16日）いたしました。

AI BIOは、「ダニ媒介性感染症である重症熱性血小板減少症候群」（SFTS）のウィルスに対する抗体の実施許諾権を取得し、治療用抗体医薬品の実用化を目指し、研究開発を実施しております。

現在、CDMO（医薬品受託開発製造）企業にてマスターセルバンク（MCB）及びワーキングセルバンク（WCB）を製造し、抗体の生産及び製造工程の開発をおこない、カニクイザルによる前臨床試験を実施できる段階になりました。なお、開示が必要な事項が生じた場合は、速やかに開示いたします。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。なお、第2四半期より報告セグメントの区分を変更しております。（2021年5月14日公表「報告セグメントの変更に関するお知らせ」を参照）

セグメント	売上高			営業損益		
	金額 (千円)	前年同期比		金額 (千円)	前年同期比	
		増減額 (千円)	増減率 (%)		増減額 (千円)	増減率 (%)
抗体関連事業	436,388	+26,831	6.6	△50,825	+21,476	—
診断試薬サービス	353,847	+16,239	4.8	17,699	+20,543	—
検査サービス	53,920	+7,566	16.3	△17,038	+5,369	—
TGカイクサービス	28,620	+3,025	11.8	△51,485	△4,437	—
遺伝子組換えカイク開発事業	—	—	—	△77,654	+67,593	—
化粧品関連事業	11,693	+6,672	132.9	△8,758	+5,096	—

## ① 抗体関連事業

当事業の売上高は、診断試薬サービスにおいて、企業や大学等における研究開発活動が活発となり、主力のE I A測定キットや抗体は、国内外からの受注が順調に推移し、四半期ごとに販売が増加しております。一方、動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キット（BSEキット）の販売は、前年に比べ減少いたしました。営業利益につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、国内外の出張諸経費が抑制されましたが、体外診断用医薬品及び体外診断用医薬品原料の開発に注力しているため、開発費が増加いたしました。

検査サービスにおいては、2021年11月1日付で株式会社スカイライト・バイオテック（SLB社）を吸収合併いたしました。本合併により、「LipoSEARCH」を始めとするSLB社のサービスを当社が取扱うこととなり、これまで以上にサービスの品質向上に努めてまいります。一方、営業・管理部門において人的、物的資源を効率化し、経費の削減をおこなえとと考えております。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続いておりますが、既存顧客である製薬企業からの「LipoSEARCH」大型案件が受注になったことで、当第3四半期連結累計期間の実績は、前期に比べ増加し

ております。引き続き、国内外での学会展示、対面訪問などの営業活動が制限される中、WEBを活用した情報発信などに努めてまいります。

TGカイコサービスについては、培養足場材として用いる研究用試薬の販売が増加したことにより、売上高は前年に比べ増加いたしました。

#### ②遺伝子組換えカイコ開発事業

当事業は、遺伝子組換えカイコの繭から生産する抗体やたんぱく質の生産コストの低減が、事業化の課題となっており、当該課題の基礎研究に集中しております。研究開発費については、GMP準拠による医薬品原料の生産を中止し、基礎研究に集中することにより前年に比べ減少しております。

#### ③化粧品関連事業

「ネオシルク®ーヒト型コラーゲンI」配合化粧品「フレヴァン」シリーズにつきまして、国内通信販売の売上は前年同期と比較し減少いたしました。欧州市場への販売が計上され、前年に比べ増加しております。また、中国市場へのBtoB販売につきましては、コロナ禍における規制等の問題により直接現地代理人との情報交換が出来ず、目途がついておりませんが、北京オリンピック終了後の状況により、改めて検討してまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比6.7%減の1,715,442千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと等で収入より支出の方が多かったことにより現金及び預金が179,083千円減少したこと及び持分法による投資損失の計上で投資有価証券が82,337千円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は前連結会計年度末比59.0%増加し、331,842千円となりました。この主な要因は165,000千円を新規で借り入れたことにより短期借入金及び長期借入金が増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末比15.1%減少し、1,383,600千円となりました。この主な要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により繰越利益剰余金が243,515千円減少したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期における各段階利益（損失額）が業績予想を超過しておりますが、過去の実績を踏まえ、第4四半期において利益の計上を見込んでいるため、2021年5月14日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染急拡大の影響や関連会社における研究開発の進行に伴う投資損失が不透明な状況のため、現在、連結業績予想（通期）を精査しております。

なお、開示が必要な事項が生じた場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	604,187	425,104
受取手形及び売掛金	198,942	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	183,014
商品及び製品	40,477	45,475
仕掛品	132,713	137,030
原材料及び貯蔵品	137,779	147,860
その他	10,869	42,202
流動資産合計	1,124,969	980,688
固定資産		
有形固定資産		
土地	127,122	120,081
有形固定資産合計	127,122	120,081
投資その他の資産		
投資有価証券	514,080	431,743
その他	71,865	182,929
投資その他の資産合計	585,946	614,672
固定資産合計	713,069	734,754
資産合計	1,838,038	1,715,442
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,248	4,825
短期借入金	20,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	11,000	4,008
賞与引当金	16,580	10,819
その他	90,179	76,554
流動負債合計	145,008	221,208
固定負債		
長期借入金	59,000	105,992
退職給付に係る負債	4,748	4,641
固定負債合計	63,748	110,633
負債合計	208,756	331,842
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,029,041	3,029,041
資本剰余金	2,061,421	2,061,421
利益剰余金	△3,461,357	△3,704,873
自己株式	△1,990	△1,990
株主資本合計	1,627,116	1,383,600
新株予約権	2,166	—
純資産合計	1,629,282	1,383,600
負債純資産合計	1,838,038	1,715,442

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	414,578	448,082
売上原価	189,836	200,596
売上総利益	224,742	247,485
販売費及び一般管理費	455,426	384,163
営業損失(△)	△230,684	△136,678
営業外収益		
受取利息	68	216
為替差益	—	923
保険解約返戻金	—	3,623
助成金収入	5,794	—
補助金収入	2,150	12
その他	1,331	3,272
営業外収益合計	9,344	8,049
営業外費用		
支払利息	606	378
為替差損	7,840	—
持分法による投資損失	70,059	103,868
その他	—	25
営業外費用合計	78,506	104,272
経常損失(△)	△299,846	△232,900
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,166
固定資産売却益	—	371
特別利益合計	—	2,537
特別損失		
減損損失	118	7,041
特別損失合計	118	7,041
税金等調整前四半期純損失(△)	△299,965	△237,404
法人税、住民税及び事業税	3,833	6,110
法人税等合計	3,833	6,110
四半期純損失(△)	△303,799	△243,515
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△303,799	△243,515

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△303,799	△243,515
四半期包括利益	△303,799	△243,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△303,799	△243,515
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。